

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期 伊江村まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

沖縄県国頭郡伊江村

3 地域再生計画の区域

沖縄県国頭郡伊江村の全域

4 地域再生計画の目標

本村は、沖縄本島北部の本部半島から北西約9kmの距離にある一島一村の離島である。島の輪郭は、東西8.4km、南北3kmで中央が括れたピーナツ型を成し、総面積22.78 km²で、県内有人離島では8番目に大きい島である。本村の人口は昭和以降の人口推移をみると、昭和35年（1960年）の7,492人をピークに減少傾向が続いており、住民基本台帳によると令和4年（2022年）3月末時点では4,381人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2045年には総人口が2,418人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（14歳以下）は昭和45年（1970年）の2,567人をピークに減少し、令和2年（2020年）には623人となる一方、老年人口（65歳以上）は昭和45年（1970年）の648人から令和2年（2020年）には1,424人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）は平成17年（2005年）の3,029人をピークに減少傾向にあり、令和2年（2020年）には2,071人となっている。

本村の自然動態については、昭和55年（1980年）以降、出生数が死亡数を上回る自然増でほぼ推移していたが、平成10年（1998年）には自然減に転じ、自然減が続いている。また、令和3年（2021年）には出生数32人、死亡数55人と▲23人の自然減となっている。社会動態については、本村の基幹産業である農業等の衰退に伴い、雇用の機会が減少したことで、村外への転出者が増加し、昭和63年（1988年）以降、転

出者が転入者を上回る社会減の年度が多い状況である。また、令和3年（2021年）には転入数162人、転出数174人と▲12人の社会減となっている。

自然動態及び社会動態がそれぞれ減少傾向にあることから、今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

そのため、人口減への歯止め等を図りつつ、将来にわたって活力あるまちを回復・維持するための施策を同時かつ相乗的に進める必要がある。

具体的な事業は、以下の基本目標に基づいて実施する。

基本目標1 産業振興プロジェクト ～地域に根差した産業づくり～

基本目標2 Welcome いーかも いーしま いーじま プロジェクト

基本目標3 出産・子育て・教育・イエ“愛”ランドプロジェクト

基本目標4 住むだけで自然に「健康(幸)」になれる島プロジェクト

【数値目標】

5-2の①に掲げる事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2027年度)	達成に寄与する地方版総合戦略の基本目標
ア	年間農業生産額	3,193,669千円	4,400,000千円	基本目標1
	年間漁獲額	271,387千円	320,000千円	
	農水産物の新規商品開発数	—	3品以上	
イ	村内の入域観光客数	93,875人	130,000人	基本目標2
	年間転入者数	124人	200人	
ウ	県到達度調査における平均正答率	県平均を下回る	県平均を上回る	基本目標3
	全国学力学習状況調査における平均正答率	県平均を下回る	県平均を上回る	
	全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果	全国平均を上回る	前年度維持	
エ	村内の特定検診受診率	52.91%	58%	基本目標4
	各種健康教室の参加人数	136名	400名	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期 伊江村まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 産業振興プロジェクト～地域に根差した産業づくり～事業

イ Welcome いーかも いーしま いーじま プロジェクト事業

ウ 出産・子育て・教育・イエ“愛”ランドプロジェクト事業

エ 住むだけで自然に「健康（幸）」になれる島プロジェクト事業

② 事業の内容

ア 産業振興プロジェクト～地域に根差した産業づくり～事業

地域産業を最大限に活かし、農・漁・商が連携して新たな作物や商品、サービスの開発を行い地域に根差した産業づくりを目指す。また、多様化するニーズに対応するため、新たな観光価値の提供(ワークバケーション)や島の農漁産業を活かしたブランドの構築を推進し、地域産業の活性化を目指す。

【具体的な事業】

- ・新規作物等（農漁）の導入や商品開発に向けた取り組み（調査・実施）
- ・特産品販売やイベント等、県外・海外へ情報発信の強化
- ・各種専門家招致による講習や指導等

イ Welcome いーかも いーしま いーじま プロジェクト事業

人と人との交流を通して魅力ある伊江島を発信し、島を知ってもらうため、住みよい環境を整えI・J・Uターン者の移住促進に加え定住化を図り、人口ビジョンの目標とする人口5,000人を達成し、より魅力的な明るい伊江島の未来に希望を繋ぐ。

【具体的な事業】

- ・地域資源を活用した新たな交流プログラムの開発
- ・雇用環境の整備や起業、新たなワークスタイルの支援
- ・スポーツアカデミーや合宿や試合の誘致等スポーツコンベンションの推進等

ウ 出産・子育て・教育・イエ“愛”ランドプロジェクト事業

子どもたちが中学校を卒業するまでに地域資源を知り、体験を通して生まれ

育った伊江島を大好きになってもらえるよう、地域の人とのかかわりを通じて自分や地域の良さ、可能性を認識して自己肯定感や豊かな人間性を育みながら、関わる地域住民の生きがいや地域への愛着形成を醸成していく。

【具体的な事業】

- ・地域の歴史・文化・伝承を目的とした専門的知識を持った人材の育成
- ・出産から子育てまで世代間交流など村民の幅広い活動に対する支援等

エ 住むだけで自然に「健康（幸）」になれる島プロジェクト事業

人生100年時代の基盤である「健康」を維持、向上させる予防・健康づくりを推進するため、楽しく健康づくりができる環境の整備を行うとともに、治療から予防へ(健康づくり活動の充実)、「新しい生活様式」で激変した生活習慣に対応する新たな健康増進・予防活動を推進する。

【具体的な事業】

- ・健康・医療に関する情報発信の推進
- ・健康プログラムの充実
- ・専門相談機能を含めたオンライン診療等推進等

※なお、詳細は伊江村第5次総合計画のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

510,000千円（2025年度～2027年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）のサイクルを確実に回し、総合戦略の着実な実施を行うため、「伊江村総合計画推進会議」を設置し、毎年6月頃、重要業績評価指標（KPI）および各種施策の評価・点検を行う。検証後、速やかに本村ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

2025年4月1日から2028年3月31日 まで

6 計画期間

2025年4月1日から2028年3月31日 まで